



野生のカンガルーを発見した



BMG校所有の土地で、自然体験活動を行った。



登った先で記念撮影



各ホストファミリーの家で楽しい時間を過ごした。



グレートオーシャンロードへ



夜のメルボルン市内を歩く



BMG校滞在最終日。コアラのぬいぐるみを制作する授業を受け、昼休みにはBMG校生徒に折り紙を教えた。夜は、学校の図書館でお別れ会が行われた。



仲良くなったホストシスター



折り鶴の折り方を教える



お別れ会ではホストファミリーと「おてもやんサンバ」を踊った



保護者に出迎えられ
阿蘇くまもと空港へ帰ってきた



台湾桃園国際空港から阿蘇くまもと空港へ。



早朝、ホストファミリーと別れシドニーへ。シドニーの町を観光した。



ホストファミリーとの別れ



引き続きシドニー観光でブルーマウンテンズへ。その後、オーストラリアメルボルン空港から台湾へ飛び立った。



ブルーマウンテンズで
オーストラリアの雄大な自然を学ぶ

バツカスマーシュ・グラマー校へ

7月29日～8月9日、菊陽中学校・武蔵ヶ丘中学校の生徒12人を、オーストラリアに派遣しました。町の子どもたちがさまざまな文化や広い世界に興味を持つことを目的に、平成8年度から始まったこの海外派遣事業も、24回目を迎えました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度～5年度は開催することができず、今回が5年ぶりの開催。派遣期間中は、生徒たちを町PR大使に任命し、町のことを英語で話せるよう事前学習会も行いました。現地では、バツカスマーシュ・グラマー校(以下、「BMG校」)の授業に参加し、7日間のホームステイを体験。本記事では、その行程や生徒の報告を紹介します。



阿蘇くまもと空港で出発式を行い、午後6時頃の飛行機で台湾へ。午前0時頃、台湾桃園国際空港からオーストラリア行の飛行機に搭乗。



空港内の待ち時間で英語の先生が英会話のテストを実施



午前10時頃にオーストラリアメルボルン空港へ到着。その後、メルボルン市内を観光。



セント・パトリック大聖堂の
ステンドグラスを撮影する



ビクトリア州立図書館を見学



BMG校本校で、授業に参加。この日は、日本語の授業を選択しているBMG校生徒による学校案内や、BMG校生徒へ英語で自己紹介などを行った。



原住民アボリジニが使った
技法で絵を描く授業



自分から英語で会話することに
チャレンジ



引き続きメルボルン市内を観光し、バツカスマーシュへ向かった。この日からホストファミリーと生活を共にする。



ウェルカムパーティー



BMG校生徒とのグループワーク

BMG校分校で行われる授業に参加。日本とオーストラリアのことを伝え合う校内ウォークラリーが行われた。他にも、BMG校2年生に日本語を教えた。



BMG校生徒たちに日本語を教える



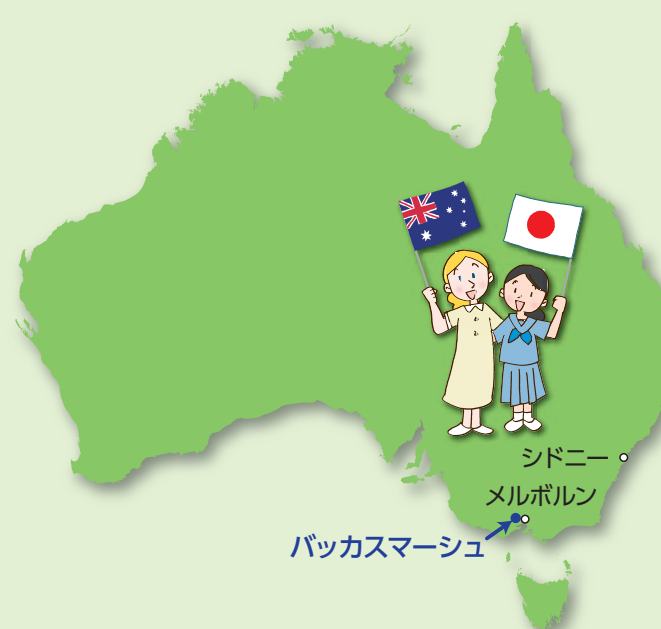
BMG校で披露する出し物の練習



店での注文方法や、家の中での会話を想定した英会話レッスン



町のことをタブレットで調べ、他の生徒に共有



令和6年度菊陽町中学生派遣事業

バックスマーシュ・グラマー校へ

生徒たちは外国での生活を通して、日本ではできない貴重な体験をし、また新たな目標ができたようです。派遣した生徒の報告を紹介します。

今回、ホームステイをして、最初は英語を聞き取るだけで、一杯でしたが、だんだん言っていることが分かるようになり、自分のことや自分の意思を伝えられるようになりました。12日間ではできない貴重な経験ができ、何よりオーストラリアの方の温かさにたくさん触れることができた。自分の知らなかった世界に飛び込めたことで、視野が広がりました。同じところにもう一度行き、出会えた方たちにまた会えるよう努力を重ねます。



菊陽中学校 宮崎 紗菜さん

オーストラリアで過ごした日々は、私にとって大切な思い出と貴重な経験となりました。ホストファミリーとの初対面は少し緊張しましたが、私を笑顔で温かく迎え入れてくれて、とてもうれしかったです。一緒に映画を見たり、ピアノを弾いたり、楽しい時間を過ごすことができました。学校では、みんなとても明るくフレンドリーで、たくさん話して仲良くなりました。この海外派遣事業で学んだ経験を生かして、今後の私の人生につなげていきます。



武蔵ヶ丘中学校 梁矢 莉愛さん

私は今回の海外派遣事業を通して、オーストラリアと日本の違いをたくさん知ることができました。オーストラリアは多民族国家であること、200を超える言語が使用されていることなど、新しく知ることもありました。最初は英語でコミュニケーションをとれるか不安でしたが、学校での生活やホストファミリーとの会話を通して、少しずつ話ができるようになっていきました。本当に楽しくて貴重な体験ができた12日間でした。



菊陽中学校 宮崎 紗朱さん

私は、今回の海外派遣事業が初めての海外でした。日本とは違う光景に、驚きとわくわくの気持ちでいっぱい12日間でした。初めは、きちんと英語で話せるか不安でしたが、オーストラリアの人たちは優しく、ゆっくり話してくれ、お互いの言葉が伝わった時はすごくうれしかったです。これからもっと英語を勉強して、ホストファミリーや友達にもう一度会いに行きたいです。今回この事業に参加して、貴重な経験をさせてもらい、本当に感謝しています。



武蔵ヶ丘中学校 出口 彩花さん

「こんにちは、私の名前は〇〇です」「ありがとう」。これらは、オーストラリアで私に笑顔でくれた言葉です。私は海外に行った経験がなく、不安でホームシックになりかけていました。オーストラリアで出会った人たちは、そんな私に日本語で話しかけてくれ、人の優しさに触れてとても楽しく過ごすことができました。また、言葉で伝えることの大切さも学ぶことができました。支えてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいあります。ありがとうございます。



菊陽中学校 紫藤 千乃さん

今回の海外派遣で、僕は最初自分の英語が上手く伝わるのか不安でした。しかし、先生方やメンバーが勇気付けてくれたおかげで自信がつき、ホストファミリーやオーストラリアの学校の生徒のみんなと、最高の日々を過ごすことができました。この12日間多くのことを学び、大切な思い出ができました。これからもたくさんの人と関わる中で、伝えよう、理解しようという気持ちを大事にしていきたいです。



武蔵ヶ丘中学校 今吉 桜佑さん

僕は、海外派遣事業を通して、コミュニケーションの大切さを知ることができました。現地の生徒や、ホームステイ先のホストファミリーと交流する際に、アイコンタクトや身振り手振り、そしてリアクションなどを使うことで、お互いの意志を伝え合うことができました。使う言語が異なっても、自分の伝えたいことをどうにか伝えることが、一番大切だと分かりました。自分に身に付いたコミュニケーション力で、いろいろな人と交流していきたいです。



武蔵ヶ丘中学校 向井 朋樹さん

この海外派遣事業で多くのことを学び、感じました。初めは、言葉が通じない中で、英語で思いを伝えなくてはならないことがプレッシャーで、苦戦しました。でも、逃げずに相手の表情を見ながら一生懸命伝えようと、不思議と思いが伝わりました。コミュニケーションは、言葉ではなくて思いなんだと学びました。このような素晴らしい機会を与えてくださった皆さんの方に感謝し、これからの自分の生き方で恩返ししたいと思っています。



菊陽中学校 田中 日和さん

最初は慣れないことばかりで不安でしたが、少しずつホストファミリーとの仲が深まり、学校でもたくさんコミュニケーションをとっていきうちに「楽しい」という気持ちに変わりました。現地の人はみんな温かく、相手の言葉が分からなかったり自分の気持ちが伝わらなかったりする場面もありましたが、優しく受け入れてくれてとても安心しました。海外派遣事業は、貴重で忘れられない大切な思い出になりました。この経験を生かして将来につなげていきたいです。



菊陽中学校 秋吉 華衣枇さん

小学3年生から始まった英語学習。これまでに習得した基礎的な英語でどこまで通用するのか、自分の力を試したい一心で応募しました。僕の拙い英語では、聞くことも話すことも満足にはできず、何度もどこかいい思いをしました。でも、それでもコミュニケーションをとるのとても楽しかったです。「もっと英語を勉強しよう！」海外派遣事業を通して僕が強く思ったことです。今回、幸運にも派遣生に選ばれた素晴らしい経験ができたことに、心から感謝します。



武蔵ヶ丘中学校 林田 陸玖さん

オーストラリアでの日々は、とても充実していて貴重な時間となりました。ホストファミリーは、初日で緊張していた私を温かく迎え入れてくれ、お互いの趣味の話をしたり動物園に行ったりと、本当にかげがえのない時間でした。学校の人はフレンドリーで明るく話しかけてくれ、お店の人にも親切に接してくれました。今ではオーストラリアの文化も生活も国民性も、全てが大好きになりました。これらの経験を将来に生かせるよう、努力していきたいです。



武蔵ヶ丘中学校 小磯 日菜乃さん

オーストラリアでは、多文化共生の街並み、広い土地に建つ学校、物価、道端のごみ、見えない鳥や動物。多くの違いに驚きました。そして、出会った人々の笑顔やジェスチャー、片言の日本語など、親切で溢れ、好意を感じました。言葉、文化、生活習慣が違っても、仲良くしたいという気持ちが伝わる経験でした。逆の気持ちも同じだと思えます。国際交流に限らず学びを深め、毎日を大切に過ごしたいと思っています。貴重な経験をさせていただき感謝しています。



武蔵ヶ丘中学校 小島 以瑚さん